



劇団態変 第72回公演
アイホール提携公演

『心と地 - さ迷える愛・急』

公演企画書

2021年

11月12日(金) 19:30

11月13日(土) 14:00 / 18:30

11月14日(日) 13:00

会場 AI・HALL

劇団態変(企画・製作) 大阪市東淀川区西淡路1-15-15
TEL/FAX 06-6320-0344 taihen.japan@gmail.com

公演概要

劇団態変第72回公演・アイホール提携公演

心と地 - さ迷える愛・急

作・演出・芸術監督	金満里
演奏 音	中島直樹／コントラバス かつふじたまこ
出演	金満里 小泉ゆうすけ 下村雅哉 向井望 渡辺あやの 池田勇人 田岡香織 熱田弘幸 山崎ゆき
日時	11月12日(金) 19:30 ★1 11月13日(土) 14:00 ★2 / 18:30 ★3 11月14日(日) 13:00

※受付開始は開演 60 分前、開場は開演 30 分前

★終演後、アフタートークを予定

★1 = 藤原辰史 (京都大学人文科学研究所准教授) × 金満里

★2 = 鉄秀 (アーティスト) × 金満里

★3 = 戸田ひかる (映画監督) × 金満里

会場 AI・HALL 兵庫県伊丹市伊丹2丁目4番1号

チケット (全席指定)	[前売]	一般	3,500円
		障害者・介助者	3,000円
		22歳以下	2,500円
		12歳以下	1,000円
		[当日]	一律

チケット発売 2021年10月中旬 予定

スタッフ	舞台監督	塚本修
	美術	吉田顕
	照明	海老澤美幸 (Licka)
	音響	勝藤珠子 (月猫音市場)
	メイク	倉橋かおり
	宣伝美術	東學 (188)

芸術文化振興基金助成事業

提携：伊丹市立演劇ホール

※本公演は、各関係機関の新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに基づき、必要な対策を講じて行ないます。しかし今後の状況次第ではやむを得ず開演時間の変更や公演中止となる可能性もございます。最新情報は公式ホームページにて随時お知らせしてまいります。

『心と地 - さ迷える愛・急』

劇団態変が現代の「愛」と向き合う三部作、完結編は宇宙へ！

本作品『心と地 - さ迷える愛・急』で、態変は宇宙へその舞台を移します。

高度に発達した資本主義は留まるところを知らず、人間までもその支配下におくようにせせら笑い、誰にも止められない得体のしれない驚異となっている近未来を予見します。

人類の行く末は？ 強化される管理社会で人の心はどう人間らしさを保つのか？

そして地球を汚すだけ汚し、奴隷労働のゴミ溜めに地球を陥れ、自分たちだけ宇宙へと新境地を拓いていくのは人間なのか、あるいは得体のしれない資本主義の実態なのか。顔のない存在が絶妙に絡み合い、態変独自の宇宙が立ち現れる。

出口の見えないコロナの時代、どこか現実とつながっている SF の世界へと足を踏み入れその問いを探り、身体で掘り下げる試みです。シリアスでどこか愛おしく、そして土着的ながら浮遊する”態変身体”でこそ描ける、これまでにない SF 作品としてお届けします。

さ迷える愛シリーズ三部作（序・破・急）について

1970年代。障害者が社会に向かって「愛と正義を否定する」と叫ばざるを得ない事件がありました。「愛」の名の下に障害を持つ娘を親が殺した事に対し、社会は減刑を求めたのです。そして2016年7月26日におこされた19名の殺人事件もまた、障害者は「不幸」だから死なせてあげようという決めつけではなかったでしょうか。今も、愛は、さ迷い続けたまま。敢えてこれまで「愛」をテーマにすることを避けてきた劇団態変が今こそ、愛の探訪を為さねばと「さ迷える愛」シリーズに取り組みました。

経済で図る愛の実態の『翠晶の城 - さまよえる愛・序』（2018年）

食を通し根源的な命に迫った『箱庭弁当 - さまよえる愛・破』（2019～2020年）

そして今作、破壊の手を宇宙にまで伸ばしていく人類の性（さが）を描いた『心と地 - さまよえる愛・急』でシリーズは完結となります。

抽象身体表現と音の空間が映し出す、態変の宇宙

本作で態変の身体と共に宇宙へ向かうのは、中島直樹のコントラバスと、かつふじたまこの作る「音」。序章である『翠晶の城』で演奏をした二人が再び今回も音楽を担当します。人間の心の機微に触れる低音と、時間と空間を飛び越える「音」は、観る人を宇宙にまで誘う強力な導き手となるでしょう。

2020年5月に予定していた初演からコロナ禍による延期を3度重ねざるを得なかったため、関西では2年半ぶりの劇団本公演と相成りました。会場はこれまでの2作でも初演の地となった伊丹・アイホールです。どうぞご期待ください。

『翠晶の城 - さ迷える愛・序』 (2018年)



2018年1月 @アイホール
撮影 中山和弘 (上から3番目のみ photo by bozzo)

『箱庭弁当 - さ迷える愛・破』 (2019～2020年)



2020年11月 @座・高円寺1 撮影 池上直哉

プロフィール

金満里（芸術監督）

日本で活躍した韓国古典芸能家・金紅珠の末娘として生まれる。3歳でポリオに罹患、全身麻痺の重度身障者となる。10年間の障害児施設入所を経て、70年代に盛り上がった障害者解放運動に出会い活動する。1975年、日本で初めて24時間ボランティア介護での自立生活を始めた。1983年、劇団態変を旗揚げ主宰。その芸術思想の「身体障害者の障害そのものを表現力に転じ、未踏の美を創り出すことができる」を掲げ、どこにもない身体表現芸術を創出してきた。劇団態変では一貫して芸術監督を務め、劇団と自身のソロを合わせ76作品の作・演出・出演を行う（2021年9月時点）。1998年初めてのソロ作品『ウリ・オモニ』を大野一雄・大野慶人監修で上演。以降、大野慶人監修でソロ作品3作品、計4作のソロ作品を世に出す。ワークショップも国内外で開催し、「金満里身体芸術研究所」で障害・健常を問わず、広く身体表現指導を行なう。

2001年～2010年 大阪市立大学 講師
2016年社会デザイン賞優秀賞受賞

著書『生きることのはじまり』（筑摩書房）

『私は女』岸田美智子・金満里編（長征社・絶版）

「舞う身体、這う身体」（鷺田清一編集『身体をめぐるレッスン1 夢見る身体』（岩波書店）に所収）

映画出演「靖国・地霊・天皇」大浦信行監督（2014年）



撮影：池上直哉

劇団態変

劇団態変は1983年の旗揚げ以来、主宰・金満里の「身体障害者の障害自体を表現力に転じ、未踏の美を創り出すことができる」という着想に基づき、身障者自身が演出し、演じる劇団として活動する。

身体こそが身近にある小宇宙、として捉えるとき、その姿勢と障害の動きとをありのままに晒すレオタードを基本ユニフォームに生み出される舞台においては、不安定にも見える態変のパフォーマーの身体こそが一瞬足りとも同じではない宇宙への感応の表現としてある。態変が表現する、ことは、生命丸ごとを投げ出すということに近く、生きる本能に目覚める身体性である。それは命の形、であり魂の表現なのだ。

一貫してのテーマは、世界の人類史に於ける優生思想の価値観を、根底から転倒させるぐらいの身障者の身体表現、である。そうでなければ芸術の意味は無いとまでの強い自覚を持ち、人間の身体に対する違う価値の提示を行なう舞台身体表現を目指している。

海外公演は、'92年のアフリカ・ケニア招聘公演を皮切りに、エジンバラフェスティバル・フリンジ、ベルン招聘公演、ベルリン・シュツットガルト招聘公演、マレーシア・韓国では現地アーティスト、パフォーマーとの共同公演を実施、他多数。

平成23年度、24年度、26年度、27年度、29年度、30年度文化庁芸術祭参加
2017年「劇団態変の世界 一障害者の「からだ」だからこそ」（論創社）を上梓



photo by bozzo

【Facebook】 <https://www.facebook.com/taihen1983/>

【Youtube】 <https://www.youtube.com/user/gekidantaihen>

【Twitter】 @imaju_taihen

【Instagram】 gekidan.taihen

共演者プロフィール

中島直樹 (Bass)

コントラバスの音に魅了され独学にて音の追求に始まり、より生きた音を求めて現在に至る。馬のしっぽに松ヤニを塗り、羊の腸にひきあて、かつてはこの地にそびえ立っていたであろう大木の力をかりて鳴らしたハーモニーは、弾き手の人生を狂わせ現在も尚ひた走る。

かつふじたまこ (音)

音作家。何気ない日常から小さな奇跡(音)を拾い集め、紡ぎ出されるその作品は、国内の他、フランス等海外のフェスティバル、ラジオ番組でも度々上演され好評を得ている。劇団態変「試験管」「翠晶の城」ほか、ダンスや演劇作品への楽曲提供も多数。

一方、鍵盤ハーモニカや日用品を用いた即興演奏でも独自の音世界を作り出し、パリ、ベルリンでもライブを行う。

<http://hello-tsukineco.jimdo.com/>

アフタートークゲスト

11/12 (金) 19:30 公演 藤原辰史 (京都大学人文科学研究所准教授)

専門は農業史、食の思想史。2006年『ナチス・ドイツの有機農業』で日本ドイツ学会奨励賞、2013年『ナチスのキッチン』で河合隼雄学芸賞、2019年日本学術振興会賞、同年『給食の歴史』で辻静雄食文化賞、『分解の哲学』でサントリー学芸賞を受賞。『カブラの冬』『稲の大東亜共栄圏』『食べること考えること』『トラクターの世界史』『食べるとはということか』ほか著書多数。

2020年4月にウェブサイト「B面の岩波新書」に掲載された論考「パンデミックを生きる指針―歴史研究のアプローチ」ではコロナ危機の時代へいち早く警告を発し、大きな反響を呼んだ。

11/13 (土) 14:00 公演 鉄秀 (アーティスト)

“太古と未来を結び、今に問いかける”をテーマとし、活動。舞台では、“舞描”(ぶびょう)というオリジナルの表現でライブペイントを行い、多ジャンルのミュージシャンや舞踏家、コンテンポラリーダンサー等と共演。

現在は、コロナがきっかけとなり生まれた、絵画で綴る物語「LOVE infection」を描き続け、配信している。

<https://neriyakanaya-art.stores.jp>

11/13 (土) 18:30 公演 戸田ひかる (映画監督)

ドキュメンタリー映画「愛と法」監督。10歳からオランダで育つ。ユトレヒト大学で社会心理学、ロンドン大学大学院で映像人類学・パフォーマンスアートを学ぶ。10年間ディレクターと編集者としてロンドンを拠点に世界各国で映像を制作。作品はNHK、BBC、ABC、The Guardianなどで放送されたほか、メルボルン国際映画祭など多数の国際映画祭で上映された。

劇団態変 上演歴

1983.06	京都	色は臭へど 京大西部講堂	京都・大阪連続公演で旗揚げ
	大阪	色は臭へど 天三カルチャーセンター	
1984.05	東京	色は臭へど II 新宿タイニイ・アリス	アリス・フェスティバル '84
1984.12	大阪	色は臭へど II 大阪府立文化情報センター	大阪府人権週間企画
1985.06	吹田	ゲリラ・クヨクヨがおんねん	吹田メイ・シアター 行政の不手際で非業の死をとげた役者ゲリラ・クヨクヨの追悼公演
1986.05	京都	出たいねん、コンチキショウ	京大西部講堂 作：紺谷・柏木 / 脚本・演出：福森
1987.04	大阪	水は天からちりぬるを	総合福祉センター
	尼崎	水は天からちりぬるを	サンシビック・ホール
1987.10	宇治	カイゴ・香異湖・KAlgo!	神楽殿ホール
1988.04	大阪	カイゴ・香異湖・KAlgo!	生野子どもの家
1989.06	伊丹	銀河叛乱 '89 -月に接吻しただけなのです-	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.10
1990.10	大阪	いざいほう in ながい	大阪長居公園 野外劇
1991.05	大阪	H e a l ~癒しの森	中之島剣先公園 中之島まつり協力・野外劇
1991.09	東京	銀河叛乱 '91 北沢タウンホール	主催：態変東京呼び屋
1992.03	大阪	静天のへきれき	総合福祉センター とっておきの芸術祭協賛
1992.05	伊丹	夢みる奇想天外 (ウェルウィッチア)	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.37
1992.09	ナイロビ	Heavenly Forest (天国の森)	ナショナル・シアター Nairobi Players 招聘によるケニア三都市ツアー公演
	カカメガ	Heavenly Forest (天国の森)	ムミアス豊学校ホール
	キスム	Heavenly Forest (天国の森)	ユナイテッド インターナショナル ライフ ミニストーリー オブ チャーチス
1993.10	伊丹	「天」3部作 ~人は誰も心に森をもっている~	静天のへきれき / 夢みる奇想天外 / 天国の森 3作一挙上演 伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.50
1993.11	能勢	[P] ビジョン・クエスト (通過儀礼)	能勢じょうりシアター
1994.02	八尾	[P] ビジョン・クエスト (通過儀礼)	プリズム・ホール
1994.05	伊丹	山が動く 劇団態変&大野一雄コラボレーション	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.56
1994.09	大阪	霊舞-地中花 ウイングフィールド	ウイングフィールド提携公演
1995.05	大阪	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	一心寺シアター 一心寺シアター提携公演
1995.06	赤穂	[P] 霊舞~ガラスの森で	ティンカーベル
1995.07	京都	霊舞~ emergence 1	法然院
1995.09	東京	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	東京芸術劇場 東京国際舞台芸術ファスティバル '95
1995.10	名古屋	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	厚生年金ホール
1995.11	長野	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	長野県県民文化会館・中ホール 全国ボランティア・フェスティバル
1996.01	伊丹	宇宙と遊ぶ 劇団態変&大野一雄コラボレーション	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.70
1996.01	神戸	[P] 霊舞~火・水・土	須佐野公園 震災メモリアルイベント「癒しと点検」出演
1996.08	エジンバラ	B L O O M ランドルフ・スタジオ	エジンバラ・フェスティバル・フリンジ '96 ジャパン・エクスペリエンスより参加
1996.10	八丈島	B L O O M 八丈島	八丈高校体育館 福祉と健康まつり
1996.12	伊丹	B L O O M	伊丹 AI・HALL AIHALL 自主企画 VOL.81
1997.01	大阪	態変 x 天鼓 LIVE!	扇町ミュージアムスクエア 扇町ミュージアムスクエア協力公演
1997.06	伊丹	死霊 (しれい)	伊丹 AI・HALL AIHALL 自主企画 VOL.86
1997.08	エジンバラ	DEPARTED SOUL (死霊)	セント・ブライズ・センター エジンバラ・フェスティバル・フリンジ '97 コンチネンタル・シフツ出演 スプリングウェル・ハウス
1997.08	ベルン	DEPARTED SOUL (死霊)	ダンフツェントラーレ 第 11 回ベルナー・タンツターゲ招聘公演
1998.03	枚方	B L O O M 枚方版	枚方公園青少年センター '98March 演劇 Zone XIII
1998.04	広島	[P] 霊舞・MOVE	南区民ホール
1998.05	福山	[P] 霊舞・MOVE	東高校ホール 主催：広島教組東分会・県立東高校障解研
1998.08	エジンバラ	MY MOTHER (ウリ・オモニ)	Theatre Workshop エジンバラフェスティバル・フリンジ '98 金満里ソロ公演 監修：大野一雄
1998.11	大阪	ウリ・オモニ	扇町ミュージアムスクエア 扇町ミュージアムスクエア協力公演
1998.11	岡山	死霊 西川アイブラザ	第 11 回岡山河畔劇場 '98 主催：おかやまアートファーム
1999.03	大阪	壺中一万年祭	トリイ・ホール 第 1 回大阪演劇祭参加
1999.05	広島	ラ・パルティエーダ ~出発	アステール・プラザ中ホール 主催：劇団態変広島公演実行委員会
1999.07	東京	ウリ・オモニ	タイニイアリス アリスフェスティバル '99
1999.09	大阪	色は臭へど III	大阪築港赤レンガ倉庫敷地内特設 NGR 銀テント 第 1 回大阪野外演劇フェスティバル
1999.12	箕面	BLOOM	The14th みのお市民人権フォーラム公演
2000.03	大阪	壺中一万年祭	扇町ミュージアム・スクエア 第 2 回大阪演劇祭連携企画
2000.05	大阪	『からだは表現する』	国立民族学博物館 みんなくミュージアム劇場
2000.06	高知	ウリ・オモニ	高知県立美術館ホール 主催：劇団態変を呼ぶ会
2000.06	ベルリン	ウリ・オモニ	フォーラム・シアター・クロイツベルク 霊舞 - FRAGIL
2000.07	福島	[P] 縄文魂宇宙「身体魂宇宙」	富や蔵・ホテルサンルートいわき 第 37 回『風の祭り』主催：縄文魂の会
2000.12	大阪	ウリ・オモニ	トリイ・ホール The 6th Osaka Dance Experience
2001.02	奈良	BLOOM	生駒市せせらぎホール 主催：社会教育財団
2001.03	大阪	壺中一万年祭 2001	扇町ミュージアム・スクエア 第 3 回大阪演劇祭連携企画
2001.07	大阪	[P] Voltex Fusion ~うずまきまぜる~	IMP ホール PAMO 2001
2001.09	ベルリン	マハラバ伝説 (Die Maha-Laba Dorf Historie)	Theater Karlshorst アジア太平洋週間招聘公演
2002.02	伊丹	マハラバ伝説	伊丹 AI・HALL 伊丹アイホール共催
2002.05	読谷 (沖縄)	マハラバ伝説	読谷村文化センター 主催：劇団態変沖縄公演実行委員会
2002.09	大阪	夏至夜夢 - まなつのよのゆめ	大阪城公園太陽の広場内特設 NGR 銀テント 第 2 回大阪野外演劇フェスティバル
2002.10	那覇	ウリ・オモニ	パレット市民劇場 うないフェスティバル 2002
2003.02	可児 (岐阜)	マハラバ伝説	可児市文化創造センター 第 9 回可児市福祉芸術祭
2003.04	京都	マハラバ伝説	京都府立鳥羽高校 学校団体観賞公演
2003.09	大阪	碧天彷徨 ウイングフィールド	
2003.10	台北	My Mother Crown Theater	Little Asia dance festival

2003.02	可児 (岐阜)	マハラバ伝説	可児市文化創造センター	第9回可児市福祉芸術祭	
2003.04	京都	マハラバ伝説	京都テルサ	京都府立鳥羽高校 学校団体観賞公演	
2003.09	大阪	碧天彷徨	ウイングフィールド		
2003.10	台北	My Mother	Crown Theater	Little Asia dance festival	
2003.11	東京	碧天彷徨	タイニイアリス	アリスフェスティバル 03	
2004.06	大阪	帰郷 - ここが異郷だったのだ	Art Theater dB		
2004.09	ソウル	帰郷 - ここが異郷だったのだ	アルングジ劇場		
2004.11	大阪	ウリ・オモニ	Art Theater dB	特別企画「大野一雄 宇宙と花」	
2004.12	東京	帰郷 - ここが異郷だったのだ	タイニイアリス		
2005.03	大阪	色は臭へど4	ウイングフィールド	ウイング再演大博覧会 2005	
2005.06	シュトゥットガルト	マハラバ伝説 (The Legend of Maha-Laba Village)	Theaterhaus T2	Theater der Welt 2005 招聘公演	
2005.10	横浜	月下咆哮	BankArt 1929	Kazuo Ohno Festival 2005	
2005.11	大阪	月下咆哮	精華小劇場	精華演劇祭 vol.2	
		記憶の森 - 塵魔王と精霊達			
2006.01	クアラルンプール	My Mother	Kuala Lumpur Performing Arts Center	態変 in Malaysia プロジェクト	
2006.09	大阪	ラ・パルティエーダ〜出発'06	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第6回大阪野外演劇フェスティバル	
2006.12	東京	月下咆哮	タイニイアリス		
2007.01	福島	[P] 縄文魂宇宙「いのちの宇宙」	三春交流会館まほら・カトリックいわき教会	『風の祭り』主催：縄文魂の会	
2007.01	横浜	[P] 九葉溝の龍	Kazuo Ohno Festival 2007	「百花繚乱」出演 金満里ソロパフォーマンス	
2007.02	大阪	記憶の森	メタモルホール		
2007.04	クアラルンプール	Hutan Kenangan (記憶の森)	Kuala Lumpur Performing Arts Center		
		「態変 in マレーシア」プロジェクト公演		プロジェクトで養成したマレーシア人役者による公演	
2007.04	静岡	[P] 月下咆哮より2シーンと即興	スナック・パロン		
2007.09	大阪	マハラバ伝説 黎明編	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第7回大阪野外演劇フェスティバル	
2007.11	大阪	ウリ・オモニ / 月下咆哮	ウイングフィールド	20周年「時代を駆ける演劇人」	
2008.01	シンガポール	My Mother (ウリ・オモニ)	The Arts House	M1 Singapore Fringe Festival 招聘公演	
		Howl under the moon (月下咆哮)			
2008.01	ジャカルタ	Howl under the moon (月下咆哮)	TIM Teater Kecil		
2008.09	大阪	男は旅に出た - チェ・ゲバラ			
		すがた現すもの	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第8回大阪野外演劇フェスティバル	
2009.05	土浦 (茨城)	マハラバ伝説	茨城県立南生涯教育センター		
2009.09	大阪	男は旅に出た2 ファン・ウンド潜伏記	大阪城公園太陽の広場特設 NGR 雷魚テント	第9回大阪野外演劇フェスティバル 参加	
2010.03	大阪	天にもぐり地にのぼる	ウイングフィールド	金満里ソロ作品・3作目	
2010.10	大阪	男は旅に出た3 自由からの逃走	大阪城公園太陽の広場特設 NGR 雷魚テント	第10回大阪野外演劇フェスティバル 参加	
2010.11	横浜	[P] 狼 (月下咆哮〜)	BankArt Studio NYK	大野一雄フェスティバル 2010 招聘	
2011.01	大阪	ファン・ウンド潜伏記	精華小劇場	精華演劇祭 2010 AUTUMN/WINTER 参加	
2011.03	ソウル	ファン・ウンド潜伏記	KOUS (韓国文化の家)	韓国2都市ツアー	
	固城 (慶南)	ファン・ウンド潜伏記	固城郡文化体育センター		
2011.08	大阪	ウリ・オモニ	大阪大学・21世紀懐徳堂スペース	世界演劇学会 2011 大阪大会・特別公演	
2011.09	ソウル	ファン・ウンド潜伏記〜朴環珉同行の新たな旅路	南山国楽堂	朴環珉さん招聘による再演	
2011.10	伊丹	喰う	伊丹 AI・HALL	平成 23 年度文化庁芸術祭参加	
2012.02	伊丹	福森慶之介一世一代 又、何処かで	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演	
2012.05	大阪	天にもぐり地にのぼる	メタモルホール		
2012.07	沖縄	天にもぐり地にのぼる	ミュージックタウン音市場	キジムナーフェスタ 2012 参加	
2012.10	大阪	虎視眈眈	ウイングフィールド	平成 24 年度文化庁芸術祭参加	
2012.11	東京	虎視眈眈 in 駒場東邦	国立オリンピック記念青少年総合センター	小ホール	
2012.12	東京	天にもぐり地にのぼる	タイニイアリス		
2013.02	伊丹	ミズスマシ	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演	
2013.07	大阪	ヴォイツェク	メタモルホール		
2013.10	大阪	寿ぎの宇宙	メタモルホール		
2013.11	広島	寿ぎの宇宙	カフェ・テアトロ アビエルト	主催：劇団態変広島公演実行委員会	
2014.03	大阪	Over the Rainbow - 虹の彼方に	ABC ホール		
2014.10	大阪	ルンタ (風の馬) ~いい風よ吹け~	HEP HALL	平成 26 年度文化庁芸術祭参加	
2015.03	大阪	試験管	ウイングフィールド		
2015.07	大阪	ウリ・オモニ	メタモルホール		
2015.10	大阪	ぬえ	HEP HALL		
2016.03	東京	ルンタ (風の馬) ~いい風よ吹け~	座・高円寺 1		
2016.08	大阪	寿ぎの宇宙	メタモルホール		
2016.10	大阪	ヴォイツェク	メタモルホール		
2017.03	大阪	ニライカナイ - 命の分水嶺	HEP HALL		
2017.05	愛知	幻視の郷	豊田大橋 橋の下 千石公園	橋の下世界音楽祭参加	
2017.10	東京	寿ぎの宇宙	d- 倉庫		
2018.01	兵庫	翠晶の城 - さ迷える愛・序	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演	
2018.07	大阪	あの日から、ずっと・・・	メタモルホール		
2018.11	東京	ニライカナイ - 命の分水嶺	座・高円寺 1 座・高円寺	提携公演 平成 30 年度文化庁芸術祭参加	
2019.02	東京	ウリ・オモニ	ザ・スズナリ		
2019.06	兵庫	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演	
2019.12	大阪	モノガタルカラダ/物語る声	メタモルホール	金満里ソロ×渡部八太夫・説経祭文	
2020.02	横浜	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	KAAT 神奈川芸術劇場	TPAM2020 (国際舞台芸術ミーティング) 招聘公演	
2020.11	東京	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	座・高円寺 1 座・高円寺	提携公演	

[註 1] 特に記述が無い作品は全て、作・演出：金満里

[註 2] 記号 [P] は、短時間あるいは即興パフォーマンスとして上演